

## 今に甦った 装飾古墳館の絵柄たち ～ひのくに高等支援学校の試み～

熊本県立ひのくに高等支援学校

### 1 はじめに

本校は、県内唯一の高等支援学校です。本校の中心的な学習となる専門学科【園芸科、工芸科、クリーニング科（皮革工芸）、窯業科】では、卒業後の社会生活や職業生活に必要な実践的な知識や技能、態度を身につけることをねらいとしています。本年度、県立装飾古墳館より依頼を受け、1500年前の装飾古墳の文様【チブサン古墳（熊本県山鹿市）】を本校の専門学科の作品に取り入れた共同企画展【平成26年11月22日（土）～平成27年1月12日（月）】を開催しました。チブサン古墳の文様は、いわゆる円文が特徴的で赤・白・青（黒）の三色で人物・円文・三角文を描いてあります。

### 2 「古代人（いにしえびと）」とつながる

制作にあたっては工芸科、皮革工芸、窯業科が、7月から古墳に関する絵柄や写真、資料から、古人の素敵な絵柄をどのように作業製品に甦らせるか、試行錯誤が始まりました。生徒達は、日頃見慣れない円や三角等の抽象化された幾何学的な絵柄に興味を持ちながら1500年前の古人へ思いを巡らせ、写し、描き、造る作業をとおして、花瓶やストラップ、コースターなど製作することができました。



(装飾古墳館HPより)

### 3 企画展示に向けて

11月からの企画展示に向けて、新聞社からの取材もあり、生徒からは「シンプルな構成が面白く、昔はどうやって作っていたのか」「うまくできた」などの感想も聞くことができました。また、ラジオ放送局からの取材や随時、紹介があるなどメディアの関心の高さを感じることができました。11月21日（金）には、装飾古墳館での内覧会に3年生が参加しました。内覧会では、展示してある作品をあらためて見直したことで、製品のよさを実感することができました。



### 3 おわりに

今回、窯業科、皮革工芸、工芸科の3年生が中心になり、カップや小鉢、花瓶、ポーチ、椅子など約30種類、80点を製作しました。中にはくまモンが古代の服を着たものやチブサン古墳の壁面をそのまま写したパズルなどを作成しました。製作活動を通して、熊本の歴史の再認識と製品作りにおける新たな発見に繋がりました。熊本の今に生きている本校生徒が、1500年前にこの地に暮らしていた古人と時空を超え、共同製作ができたというロマンに満ちた貴重な体験をすることができました。

